教科目名　日本語表現法　(Japanese Expression)

学科名・学年　：全学科　４年

単位数など　：必履修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間４５時間）

担当教員　：山田繁伸

授業の概要

前期は「ビジネス文完全マスター術」をテキストとして，実用文の書き方の基本ルールを学ぶ．適切かつ効果的に表現できる日本語力の養成をめざし，伝え合う力を高めるとともに，思考力を伸ばし，言語感覚を磨き，進んで表現しようとする態度を育てる．特に後期は「理科系の作文技術」を中心とした実用的な文章の作成を通して，それらの力や態度を完全なものになるように努める．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)（C1），JABEE 目標(a)(f)**

(1) 目的や場に応じて適切な題材を選び，自分の考えをまとめて，表現することができる．（定期試験と課題）
(2) 主題や論旨が明確になるように構成を工夫して書くことができる．（定期試験と課題）
(3) 対象を的確に表す語句を選び，文脈に即して効果的に用いることができる．（定期試験と課題）
(4) 事実と意見，説明と描写の区別などに注意し，筋道を立てて表現することができる．（定期試験と課題）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	書く前の基本事項の確認 主題を生かす題材の選定 構想に沿った文章構成 文章表現の工夫　その１ 文章表現の工夫　その２ 文章表現の工夫　その３ 文章表現の工夫　その４	○表現力の養成の重要性を理解できる． ○文章を書く目的をはっきりさせて，主題を生かす題材を選定することができる． ○抽象度の高い言葉や分かりにくい言葉などの取り扱いにおいて工夫することができる． ○適切な言葉を使って表現できる．	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 文章の組み立て方の工夫　その１ 文章の組み立て方の工夫　その２ 文章の組み立て方の工夫　その３ 文章の推敲の工夫　その１ 文章の推敲の工夫　その２ 文章の推敲の工夫　その３	○３段落構成と４段落構成との違いを理解し，効果的な段落構成ができる． ○並列型・直列型・並直混載型を意識して，目的にかなった段落構成にできる． ○自分の書いた文章を客観的に読み返すことができる． ○ちょっとした点に注意して，より分かりやすい文章になるように推敲できる．	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	主題の決定 目標規定文 重点先行主義 パラグラフとトピックセンテンス 文章の流れ 明確な主張 事実と意見　その１	○主題を効果的に絞り込むことができる． ○文章の目標や主張をよく考え，目標規定文を書くことができる． ○実用的文章における重点先行主義の重要性を認識し，文章をそのように展開できる． ○明言を避けようとする心を捨て，明確な主張ができる．	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 事実と意見　その２ わかりやすい簡潔な表現　その１ わかりやすい簡潔な表現　その２ 読みやすさへの配慮 手紙・電子メール 校正	○事実と意見の違いを認識し，２つを書き分けることができる． ○簡潔な文章，風格のある文章，明晰な文章等がどのようなものか理解して，そのような文章がある程度書ける． ○手紙や電子メールの形式を知り，効果的な通信文が書ける．	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業では，原則として毎回演習補助プリントを配布するので，それを綴じていく A4 版のファイルを各自で準備しておくこと．	【総合達成度】
教科書	篠田義明，「ビジネス文完全マスター術」，角川書店 木下是雄，「理科系の作文技術」，中央公論新社	
参考図書	「総合国語事典第６版」，大分県高等学校国語教育研究会 「国語辞典」，「漢和辞典」	
関連科目	現代文，哲学概説，卒業研究，国語Ⅰ，国語Ⅱ	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について，４回の定期試験と課題で評価する． 総合評価＝0.8×(４回の定期試験の平均点)＋0.2×(課題点) 総合評価が 60 点以上を合格とする	【総合評価】　　点